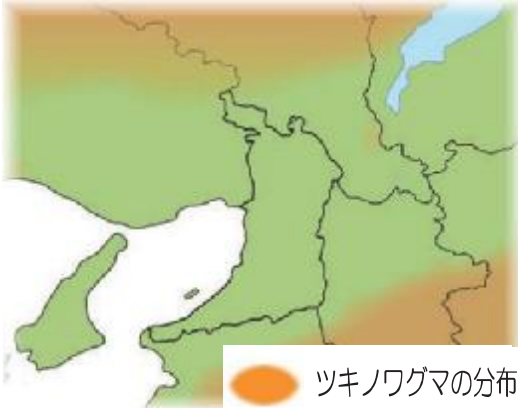


ツキノワグマ出没！要注意！

《ツキノワグマの生息状況》

大阪府内では、これまで一時的なクマの目撃情報はあっても定着した個体等
は確認されていませんが、隣接府県ではクマの生息域の拡大が指摘されており、
大阪府内でもクマの出没が増加する可能性があります。



ツキノワグマの分布

・大阪府内における出没状況

北摂地域での出没情報がやや多い傾向があります。

平成26年には3市町で5件の出没情報がありました。

平成16年 能勢町、阪南市、和泉市

平成17年 能勢町

平成26年 茨木市、豊能町、高槻市



《ツキノワグマの生活史》



・クマが好むどんぐりや果実が凶作の年には、集落周辺のカキや生ゴミなどに誘引され、夏以降に大量出没することがあります。

・また、初夏は交尾のため、オスの行動範囲が広がり目撃が増える傾向にあります。

《ツキノワグマの痕跡》

足跡



長さ 15cm
幅 10cm ほど
前後が重なる

糞



ソーセージ状
やペースト状
のものが多く

爪跡



爪の間隔は
1cm ほど
4~5本の平行線

クマ棚



どんぐりや果実の
なる木に鳥の巣状
にできる採食痕

***クマの目撃や痕跡情報をお知らせください。
情報は最寄りの市役所・町役場まで。**

住民・ハイカーのみなさまへ

クマと出会わないために

- ① 山に行くときは音の出るものを持っていきましょう
 - ・山林近くの農地に行くとき、夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身につけましょう。
 - ・とくに雨の日や川沿いは人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいので、大きな音を出しましょう。
- ② 集落周辺でも夕方から朝までの外出は注意しましょう
 - ・クマは夕方から早朝にかけて、集落に出没する可能性が高まります。
 - ・できるだけ単独行動は避け、複数で行動しましょう。



クマ鈴などを利用しましょう

クマを集落周辺におびきよせないために

- ① 誘引物の除去
 - ・ゴミを野外に置かないようにしましょう。田畑への残飯まき、収穫しない野菜等の放置も厳禁です。
 - ・収穫しない不要なカキやクリの木は、できるだけ伐採しましょう。
 - ・伐採が困難な場合は、防護するか、果実を早めに取り除きましょう。
- ② 環境の整備
 - ・住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブがある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。
- ③ 防護
 - ・果樹園や養蜂巣箱は、電気柵で守りましょう。



収穫しない果実は除去しましょう

もし出会ってしまったら・・・

- ① 近くにクマがいることに気がついたとき
 - ・落ち着いてゆっくりとその場から離れましょう。
 - ・その際、クマに背を向けずにクマを見ながら、ゆっくり落ち着いて後退してください。
- ② すぐ近くで出会ったとき
 - ・あわてた人の急な動作で驚いて、攻撃してくることがあるので、冷静に、あわてず、クマが立ち去ってからその場を離れましょう。
 - ・突発的におそわれたら、両腕で顔や頭をガードして、大ケガを避けましょう。
- ③ 子グマを見たら
 - ・近くに必ず親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる場合があります。すぐにその場から立ち去りましょう。



親子グマは危険です

餌付け防止のお願い

全国的に、クマやシカ、イノシシ、アライグマ、サルなどの野生動物による農林業被害や人身被害が問題となっています。問題の背景には様々な理由が考えられますが、要因の一つとして野生動物に食べ物を与えたり、意図せずゴミやお供え物などを放置することで、野生動物が餌付け状態になり、集落周辺に出没し、被害が発生していることが考えられます。

野生動物と人がうまく棲み分け、共存していくために、野生動物を集落周辺におびき寄せないように十分な注意を払いましょう。

ハンターのみなさまへ

クマの出没情報があった場合、シカ・イノシシの狩猟や有害鳥獣捕獲での「くくりわな」の使用は控え、また、檻は扉を一時的に固定する（もしくは閉める）、またはクマが逃げられる構造（天井に直径 30cm 程度の穴をあけたもの）の檻を使用するようにしましょう。

発行：大阪府環境農林水産部

動物愛護畜産課 野生動物グループ

制作：株式会社野生動物保護管理事務所

2015年2月（このチラシで用いられた図・写真の無断使用を禁止します）

このチラシは5000部印刷し、一部あたりの単価は43円です。